Pioneering Art Director: **Hiroshi Mizutani** at his Centenary [Film Screening]

鶴八鶴次郎

生誕100周年記念

美術監督 水谷浩 作品選集

NFC 小ホール

京橋映画小劇場

KYOBASHI-ZA No.3

2006年 9月8日(金)–9月24日(日)

※金曜日・土曜日・日曜日のみの上映となります。

東京国立近代美術館フィルムセンター 小ホール(地下1階)

開映後の入場はできません。

定員=151名(各回入替制)

発券=地下1階受付

料金=一般500円/大学・高校生・シニア300円/小・中学生100円

・観覧券は当日・当該回にのみ有効です。

・発券・開場は開映の30分前から行い，定員に達し次第締切となります。

・シニア(65歳以上)の方は，必ず年齢を証明できるものをご提示ください。

・障害者の方は無料です(入館の際に障害者手帳などをご提示ください)。

・発券は各回1名につき1枚のみです。

東京国立近代美術館フィルムセンター
National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo

小ホール上映作品

生誕100周年記念
美術監督 水谷浩 作品選集
Pioneering Art Director:
Hiroshi Mizutani at his Centenary
[Film Screening]

フィルムセンターの7階展示室で現在開催中の企画展「生誕100周年記念 美術監督 水谷浩の仕事」に関連し，「京橋映画小劇場」第3回企画として，水谷浩が美術を手がけた数々の作品のうち，9本を選りすぐって上映します。

水谷浩は松竹蒲田撮影所を皮切りに，帝国キネマ，新興キネマ，そして松竹京都へと活動の拠点を移しながら，溝口健二をはじめ，清水宏，内田吐夢，村田実，伊藤大輔，小林正樹など日本映画の巨匠たちの構想に豊かな膨らみをもたせてきました。映画美術の重要性を改めて認識させた水谷は国境を越えて高い評価を受け，今なお広く注目される映画人の一人です。

企画展と合わせて，こうした水谷浩の仕事ぶりをじっくりとご覧いただければ幸いです。

＊なお，水谷が携わった溝口健二監督作品は，10月31日（火）からの大ホール企画「没後50周年 溝口健二再発見」で上映します。

■㊫=監督 ㊗=原作・原案 ㊧=脚本・脚色 ㊨=撮影 ㊩=美術・装置 ㊪=音楽 ㊥=出演
■記載した上映分数は，当日のものと多少異なることがあります。
■本特集には，今年度の企画「シナリオ作家 新藤兼人」（終了）と「没後50年 溝口健二再発見」（10月31日—11月16日，11月28日—12月27日）にて上映の作品は含まれておりません。

1 9/8(金)2:00pm 9/24(日)3:00pm

不壊の白珠［染色復元版］
（102分・24fps・35mm・無声・染色）

美術監督水谷の初期作品。1920年代，しばしば映画の原作を手がけていた作家・菊池寛の通俗小説が原作。清水宏は後に子どもたちや日常生活を中心に描くようになるが，初期は本作のような美男美女たちの恋愛メロドラマをも演出していた。原作と松竹所蔵のマスターポジへの書き込みを手がかりに，フィルムセンターがネガの編集やインタータイトルの作り直しを行い，チェコの工房で製作当時の染色を施した復元版。

'29（松竹蒲田）㊫清水宏㊗菊池寛㊧村上徳三郎㊨佐々木太郎，増谷麟，納所歳己㊥八雲恵美子，高田稔，及川道子，新井淳，小村新一郎，鈴木歌子，伊達里子，高尾光子，小藤田正一，藤田陽子，滝口新太郎，谷崎龍子

2 9/8(金)6:00pm 9/17(日)0:00pm

警察官（121分・18fps・35mm・無声・白黒）

1932年の"大森ギャング事件"をもとにした竹田敏彦の同名戯曲が原作。当時，警察署内でのロケも特別に許可された国策に沿って製作されたが，人々が胸に秘めた様々な苦悩を描こうとした内田吐夢の傑作。結末の追跡シーンなど，若かりし水谷の大胆な美術が作品を彩る。

'33（新興）㊫内田吐夢㊗竹田敏彦㊧山内英三㊨相坂操一㊩水谷浩司（浩）㊥中野英治，小杉勇，松本泰輔，生方一平，荒木忍，浅田健二，森静子，桂珠子，北岡勲，三保敦美

3 9/9(土)0:00pm 9/22(金)2:00pm

こぶとり（20分・24fps・16mm・白黒）

多層式アニメ撮影台の開発にも携わったことで知られる持永只仁の人形アニメーション映画。人形の存在感を希薄にしないよう配慮されたシンプルなセットだが，奥行きの作り方などに工夫が見られる。

'58（人形映画製作所＝電通映画）㊫持永只仁㊧田中喜次㊨岸次郎㊪加藤三雄

霧笛（94分・24fps・35mm・無声・白黒）

現存する数少ない村田実作品。水谷浩が現出させた明治時代の横浜の異国情緒溢れる港町の風景は，青島順一郎の大胆な撮影テクニックによって一層映え，フィルムノワール調のストーリーに絶妙な雰囲気を与えている。

'34（新興京都）㊫村田實㊗大仏次郎㊧国弘周禄㊨青嶋順一郎㊥中野英治，菅井一郎，志賀暁子，村田宏壽，小坂信夫，ジョー・オハラ，大泉浩二，原謙介，對馬邦江，並木錦子，一條桂子，唐松澤子

4 9/9(土)3:00pm 9/17(日)3:00pm

元禄美少年記（108分・35mm・白黒）

中村賀津雄扮する赤穂浪士の軽輩が切腹の瞬間を目前に，事の経緯を振り返る。『元禄忠臣蔵』に並び，水谷浩の描く武家屋敷を舞台とする作品の一つ。切腹の場などは参考として細川家のものを実際に訪問した上でデザインしており，史実に忠実であろうとした水谷のこだわりが覗える。

'55（松竹京都）㊫伊藤大輔㊧八尋不二㊨長岡博之㊪深井史郎㊥中村賀津雄，片山明彦，淡路惠子，雪代敬子，柳永二郎，市川春代，多々良純，石黒達也，三井弘次，佐竹明夫，諸角啓二郎，北澤彪

5 9/10(日)0:00pm 9/16(土)3:00pm

鶴八鶴次郎（125分・35mm・カラー）

川口松太郎の小説の，大曾根辰保監督による2度目の映画化作品。水谷が手がけた大正末期の東京の下町風景は，街の看板にまで行き届いたリアリティで描かれ，下町なりの魅力を放っている。水谷が手がけたクレジット画面からも，水谷の美的センスを確認することができる。

'56（松竹京都）㊫大曾根辰保㊧川口松太郎㊨石本秀雄㊪木下忠司㊥高田浩吉，淡島千景，石浜朗，小山明子，山村聰

6 9/10(日)3:00pm 9/23(土)0:00pm

世にも面白い男の一生 桂春団治
（108分・35mm・白黒）

上方落語界に新風を吹き込んだ酒癖も女癖も悪い落語家・桂春団治が描かれた作品。舞台となる戦前の大阪ミナミの法善寺横丁を，水谷は綿密な実地調査や計測の末にオープンセットとして見事甦らせた。

'56（宝塚映画）㊫㊧木村恵吾㊗長谷川幸延㊨三村明㊪船越隆二㊥森繁久彌，田村楽太，淡島千景，高峰三枝子，八千草薫，浮世亭歌楽

7 9/15(金)2:00pm 9/24(日)0:00pm

大阪物語（96分・35mm・白黒）

元禄時代の大阪を舞台に，貧困を恐れるあまり金銭のためにすべてを捧げても惜しまぬ商人の姿が描き出される。ここでは，18世紀末に刊行された名所図録の一つ「攝津名所図会」を参考にして設計されたという，大阪・堂島の蔵屋敷や元禄の商家のすばらしいセットを目にすることができる。

'57（大映京都）㊫吉村公三郎㊗溝口健二㊧依田義賢㊨杉山公平㊪伊福部昭㊥市川雷蔵，香川京子，中村雁治郎，林成年，小野道子，勝新太郎，三益愛子，中村玉緒，東野英治郎，山茶花究，十朱久雄，滝花久子，荒木忍

8 9/15(金)6:00pm 9/23(土)3:00pm

筑豊のこどもたち（106分・35mm・白黒）

土門拳の同名の写真集を基に，オール・ロケーション撮影で筑豊炭田と子どもたちの姿を捉えた作品。本作のようなセミ・ドキュメンタリー・タッチの作品は，水谷が事実とどのように向き合ってきたかを垣間見せるとともに，水谷の扱う素材の幅の広さを感じさせるものと言える。

'60（東宝＝日本映画新社）㊫内川清一郎㊧菊島隆三，広沢栄㊨白井茂，伊藤秀朗，関口敏雄㊪佐藤勝㊥加東大介，森沢孝，宮部昭夫，沖村武，小泉博，福田公子，日下部政子，寄山弘，野辺かほる，木村潔

9 9/16(土)0:00pm 9/22(金)6:00pm

いのち・ぼうにふろう（121分・35mm・白黒）

水谷浩の遺作。普段は頼りなくとも命知らずに愛を貫こうとする男の姿に心動かされ，ならず者たちが動き出す。舞台となった江戸のセットは神奈川・相模川に設置されたが，準備段階では京都時代劇を支えた下加茂スタジオと大道具係を使っての建設を水谷は考えていた。

'71（東宝＝俳優座）㊫小林正樹㊗山本周五郎㊧隆巴㊨岡崎宏三㊪武満徹㊥仲代達矢，栗原小巻，酒井和歌子，中村翫右衛門，神山繁，佐藤慶，山本圭，中谷一郎，近藤洋介，滝田裕介，岸田森

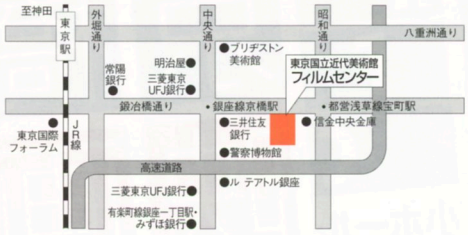
不壊の白珠

いのち・ぼうにふろう

●《京橋映画小劇場》とは

平成18（2006）年度よりフィルムセンターは，これまで教育機関のための特別映写や一部の共催事業の会場として使用されてきた小ホールを，《京橋映画小劇場》（KYOBASHI-ZA）の名のもと，年に数回，フィルムセンターの主催上映企画にも利用し，さらなる上映活動の拡充を図ることとなりました。

フィルムセンター所蔵作品の公開を中心に，外部団体との共催企画も引き続き模索しつつ，多彩な上映企画の実現を目指します。大ホール・展示室企画ともども，皆さまのご来場を心よりお待ちしております。



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通：
東京メトロ銀座線京橋駅下車，出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線宝町駅下車，出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車，出口7より徒歩5分
JR東京駅下車，八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ：ハローダイヤル03-5777-8600
NFCホームページ：
http://www.momat.go.jp/
NFC携帯電話ウェブサイト：
http://www.momat.go.jp/nfc/k/

9月	金曜日	土曜日	日曜日
8日	2:00pm 1 不壊の白珠	0:00pm 3 霧笛 他	0:00pm 5 鶴八鶴次郎
	6:00pm 2 警察官	3:00pm 4 元禄美少年記	3:00pm 6 世にも面白い男の一生 桂春団治
15日	2:00pm 7 大阪物語	0:00pm 9 いのち・ぼうにふろう	0:00pm 2 警察官
	6:00pm 8 筑豊のこどもたち	3:00pm 5 鶴八鶴次郎	3:00pm 4 元禄美少年記
22日	2:00pm 3 霧笛 他	0:00pm 6 世にも面白い男の一生 桂春団治	0:00pm 7 大阪物語
	6:00pm 9 いのち・ぼうにふろう	3:00pm 8 筑豊のこどもたち	3:00pm 1 不壊の白珠